

# こんにちは 野々市市議会です



野々市市議会基本条例を全員賛成で可決

令和2年度一般会計補正予算及び令和3年度予算に関する 3月定例会 概要 各委員会のQ & A	..... 2 P
各委員会のQ & A・人事案件・議会基本条例	..... 3 P
一般質問(12人登壇)	..... 4 P
議会組織変更・6月定例会の日程	..... 16 P





岩見 博 議員

## 都市計画税、下水道基本料金の引き上げは市民の暮らしに寄り添っているとは言えない

令和4年度からの引き上げを検討している  
都市計課税は現行の2倍の0.3%に引き上げ

## 一方で、ほとんど利用されていない土地の購入

区画整理事業を進めており、毎年多額の一般財源を投入している。コロナ禍による減収もあり、予算編成に困難を来しており、令和4年度より0・3%に引上げを検討している。下水道事業は、一般会計が負担すべきものを除き、下水道使用料の収入で賄うことが原則となっている。令和元年度の、必要な経費に対する下水道使用料の割合は84%で、単年度で1億2千万円、累積で5億4千万円の赤字で、令和4年度中に改定をお願いしたい。

財政の硬直化を理由に、都市計画税、下水道基本料金を引き上げる方針を示しているが、市民は、新型コロナで、家計収入の減と、いつ仕事を失うかもしない雇用状況下に置かれ、小規模事業者も廃業の危機との隣り合わせの厳しい状況にある。引き上げはこうした市民の暮らしに寄り添っているとは言えないと。引き上げはやめよ。

**教育長** 今後影響が出てくる可能性があるのは5年生が対象となる令和6年度以降となる予定。今後の児童数の増減の見通し

小中学校の35人学級で教室不足は、通しと対応を伺う。

教育長 今後影響が出てくる可能性があるのは5年生

Q 政府は2021年度から5年間で小学校全学年を段階的に35人に引き下げる計画を決めた。本市では教室不足が生じないのか。中学校の場合はどうなのか。見る

田で購入し、一度も使うことなく約1億6000万円も使って解体するという巨額の無駄遣いをしてきた。それだけでは足らず、土地所有者から「買ってほしい」と頼まれて旧ウイング小西の跡地を4270万円で、旧大倉外科病院跡地を4000万円で購入しようとしているが、こうした無駄遣いが財政の硬直化を招くことになっていく。購入はやめよ。

□無料化の考えは。  
市長 今後も様々なニーズを的確に把握し、機を逸することなく取り組んで行きたい。

**Q** 金沢市は、9月から、ゼロ歳から2歳児の保育料を所得制限と同時入所の有無もなくし、第2子を半額に、第3子以降は無料にする。ますます本市の子どもと子育て世帯への支援策がこのままよいか問われることになつてきている。本市で保育料を半額、無料にする場合、年間の必要予算額は。

**A** 健康福祉部長●対象児童数は現在121人で、年間約3450万円となる見込み。

**Q** ゼロ歳から2歳児保育料の

SOGI…性的指向（性の対象が男性か女性か両方か、またはどちらでもないか）・性自認（身体的性別に関わらない性の認識）  
LGBT…レズ、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダーの頭文字を取った言葉

SDGs 未来都市について  
Q 令和3年度当初予算（案）の概要説明で、市長は内閣府のSDGs 未来都市の認定をを目指すと発言された。金沢工業大学と締結したSDGs 連携協定に基づき取り組むということだが、具体的な事業やタイムスケジュールなどを伺う。

**A 市長** 金沢工業大学が開発を進めていくSDGs 教材活用に関する事業や、国が提唱している脱炭素社会、循環型社会実現に向けた事業など、現在、調整を進めている。今後のスケジュールについては、第二次総合計画でSDGs を推進していく中で、選定について目指していくたいと考えており、金沢工業大学のバックアップをいただき



西本 政之 議員

# SOGIの多様性を尊重するガイドライン を策定し市民に周知啓発せよ

広域で取組むことが効果的であると思っている

権の尊重のために「性的指向及び性自認（SOGI）に関する差別禁止に向けた取り組みのガイドライン」を策定し、ジェンダー平等・多様性推進の取り組みを加速させ、市民に広く周知啓発せよ。

Q 関係人口とは、移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域や地域の人々と多様に関わる人々を指す。本市においても、近い将来必ず備えるために関係人口の創出・拡大は重要な課題であると考える。また、訪れるであろう人口減少・高齢化に備えるためには、関係人口の創出・拡大事業」の認定を目指すのか見解を求める。

A 市長● 第一次総合計画を推進していく基本姿勢として、関係人口、いわゆる「野々市ファン」の創出・拡大を掲げ、あらゆる政策・施策の中に、その要素を取り入れていきたいと思っている。国庫補助事業の採択については、総務省のモニターリ事業に限らず、活用できるものは積極的に検討していきたい。

Q 中央地区整備事業で、築後40年近い建物を約6億4000万円で購入し、一度も使うことなく約1億6000万円も使って解体するという巨額の無駄遣いをしてきた。それだけでは足らず、土地所有者から「買ってほしい」と頼まれて旧ウイング小西の跡地を4270万円で、旧大倉外科病院跡地を4000万円で購入しようとしているが、こうした無駄遣いが財政の硬直化を招くことになっていく。購入はやめよ。

A 市長● 2か所とも、取得の意向をお伝えし、地権者と交渉をしている。

**Q 小中学校の35人学級で教室不足は**

**A 教育長●** 今後影響が出てくる可能性があるのは5年生が対象となる令和6年度以降となる予定。今後の児童数の増減の見通し

## SDGs未来都市について

一般質問を動画でご覧いただけます。  
※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。  
PC からは <https://youtu.be/BOHilBD1w-A>

一般質問のページは、各議員の文書により編集されています  
 一般質問を動画でご覧いただけます  
※二次元コードは機種により表示されない場合があります  
PC から <https://yourpage.com>

一般質問のページは、各議員の文書により編集されています。





北村 大助 議員

# 第6期障害福祉計画・第2期障害児 福祉計画の充実・強化点を伺う

## 令和4年度に基幹型相談支援センターを配置し、一層の充実強化を図る

た。そのため、現在、金沢市民生協会に委託し運営しております「地域活動支援センターののいち」をはじめ市内の福祉サービス事業所にもご協力をいただきながら、令和4年度に基幹型相談支援センターを配置し、「相談支援体制の一層の充実強化」を図ることと致しております。また、「障害福祉サービス等の質の向上」に向けては、障害者自立支援協議会の各専門部会との連携を強化し、サービス提供の効率化を図るとともに、身近な地域や、ボランティア団体の方との協働により、新たな福祉ニーズに対応した室の高いサービスの提供を目指してまいりたい。

Q 事業概要と経緯を伺う。

パーク・アンガ・ライセンス  
テムについて

本計画は障害をお持ちの...  
本人はもとより、サポートされて  
いるご家族にとっても重要な  
3ヵ年計画です。前計画に比べ充実、  
強化した点を伺う。

市長 次期計画には、「相談  
支援体制の充実強化」と「障  
害福祉サービス等の質の向上を図る  
ための取組に係る体制の構築」を新  
たに計画に盛り込むことと致しまし  
た。そのため、現在、金沢市民生協  
会に委託し運営しております「地域  
活動支援センターののいち」をはじめ  
め市内の福祉サービス事業所にもむ  
協力をいただきながら、令和4年度  
に基幹型相談支援センターを配置  
し、「相談支援体制の一層の充実強  
化」を図ることと致しております。  
また、「障害福祉サービス等の質の

**3カ年計画です。前計画に比べ充実・強化した点を伺う。**

**市長** 次期計画には、「相談支援体制の充実強化」と「障害福祉サービス等の質の向上を図るための取組に係る体制の構築」を新たに計画に盛り込むことと致しました。そのため、現在、金沢市民生協会に委託し運営しております「地域活動支援センターののいち」をはじめ市内の福祉サービス事業所にもご協力をいただきながら、令和4年度に基幹型相談支援センターを配置し、「相談支援体制の一層の充実強化」を図ることと致しております。また、「障害福祉サービス等の質の向上」に向けては、障害者自立支援

## 野々市市第6期障害福祉計画・ 第2期障害児福祉計画について

Q 事業概要と経緯を伺う。

パーク・アンガ・ライセンス  
テムについて

# “野々市市子どもの権利条例”を制定せよ

# 子どもの育成に携わる地域団体、市民の皆様のご意見を伺い検討していく



梅野 智恵子 議員

## 「野々市市子どもの権利条例」 制定について

● 向けて流れを伺う  
**A 企画振興部長** ● アンケート  
調査の回収率が60・9%と市  
民の関心の高さが伺え、審議会をは  
じめ、検討委員会でご議論いただき、  
実行性の高いプランとしてまいりた

Q 女性ゼロの自主防災組織を減らし、最低1名ないし2名以上の女性防災士所属組織を増やす

ます。公共交通の充実を図つていくうえでは、広域に取り組んでいくことが最も効果的であると思っておりますので、今後も連携して取り組んでまいりたいと考えております。

市長●Kパークについては、  
金沢都市圏4市2町の交通  
政策所管課の職員で構成する交通  
ネットワーク強化推進協議会におい

Q 今後の方向性を伺います。推進か現状維持か、それとも廃止かいらっしゃいます。

**A 企画振興部長** K.バークは  
金沢市中心部の朝と夕方の混雑時に交通渋滞緩和と環境負荷軽減のため、商業施設などの指定駐車場でマイカーからバスや電車などの公共交通に乗り換えて通勤・通学していくいただくシステムです。現在、県と4市2町が事業費を負担し運営を行っております。本市内におけるKパーク指定駐車場は平成8年度の運用開始当初は2カ所ございましたが、店舗の閉鎖等により令和元年6月末以降はございません。また本市内にお住まいでKパークにご登録をされている方は令和3年2月末現在

一般質問を動画でご覧いただけます。  
※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります  
PCからは、<https://youtu.be/bXHCRnSzZdo>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



一般質問を動画でご覧いただけます。  
※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。  
PC からは、[https://youtu.be/V4v0z\\_F1fQI](https://youtu.be/V4v0z_F1fQI)

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。







# 情報交流館カメリア及び 文化会館フォルテの外部民間

自主的な運営を目指していく中で様々な角度から、様々な観点から改善に向けての検討を重ねてまいりたい

# 安原 透 議員

**市長**●これから公益財団法人野々市市情報文化振興財団がより自主的な運営ということも目指してもらう中で、様々な角度、観点から改善に向けて検討したい。また、財団に限らず、他の公共施設全体についても効率的な管理方法を広く検討したい。

**Q** まちづくりフォーラムにて「野々市の次代を担う子どもたちを育てる」というテーマで、コミュニティスクールのあり方、本質について講演された内容であった

**「未来の野々市を担う子どもたちにできる」とに参加して**

**A 健康福祉部長** 現在市に登録の、ひとり暮らし高齢者数は406人である。また高齢者のみの世帯は80世帯である。介護保険事業第8期計画では、2030年には高齢者人口は約1万2000人となり、高齢化率は21・1%となる。ひとり暮らし、高齢者のみの世帯数について、5年前の約3000世帯

安心して暮らせる高齢社会につじての世帯が、じれくらじと想定しているのか。

（Q）令和3年度からの「財政健全化集中取組期間」の中で、情報文化振興財団が運営管理をしている文化会館フォルテ及び情報交流館カメリアについて、現状の公益財団法人から、民間指定管理者へ移行すべきである。

（A）利用者の利便性の向上や、運営管理経費の削減による本市の財政負担の軽減が見込める。

ひとり暮らしや、高齢者のみの世帯が、どれくらいと想定しているのか。

**健康福祉部長** 現在市に登録の、ひとり暮らし高齢者数は406人である。また高齢者のみの世帯は80世帯である。介護保険事業第8期計画では、2030年には高齢者人口は約1万2000人となり、高齢化率は21・1%となる。ひとり暮らし、高齢者のみの世帯数については、5年前の約3000世帯

今後、超高齢社会にむけて、  
安心して暮らせる高齢社会に  
ついて

「A 市長●地域と学校の関わり  
で、地域や、市民の皆さんのが  
協力をいただき、みんなで子ども  
たちを育てていく、大変大事な視点  
であると感じている。常口頃から子  
どもたちには自分自身が楽しみなが  
ら、無理をせず、様々な活動に積極  
的に参画をし、活動していただきた  
いと考えている。これからも、地域  
社会が協力をして子どもたちの主体  
性を引き出すような取組みを行って  
いくことが重要である。」

# 今後10 年の財政運営の考え方を伺う



# 大東 和美 議員

## 新たな財源の確保を検討し 将来都市像の達成を目指したい

本市の財政状況と将来展望について、コロナ禍が地域経済に与えた大きな打撃の影響を受け、大幅な税収の減収が見込まれることや、財政構造の弾力性を判定する指標\*「经常收支比率」は、令和元年度決算において、97・1%と石川県内で最低の数値となり、財政の硬直化が進んでいること、令和3年度から令和5年度までの3か年を財政健全集中取組期間とした旨の説明を受けました。

型コロナウイルス感染症への継続的な対応に加え、本市の大型事業の借入金の償還による公債費の増加などに対応するための新たな財源の確保が必要となることや、公共施設等総合管理計画・個別施設計画に基づく、適切な施設の長寿命化を図るための財源確保。コロナ禍の終息後を見据え、企業家・創業家を支援する体制づくりなど、将来展望について説明を受けました。

第二次総合計画においてどのように状況を想定し、目指す10年後のまちの姿はどうなるのでしょうか。実質公債比率を基にした今後10年間の財政運営の考え方について伺います。

**市長**●現状の財政状況を踏まえた、10年後のまちの姿ですが、現在策定中の第二次総合計画の中に関係する施策を盛り込んでまいりたいと考えております。

基本的なことですが、収入を増や

今後3か年において、歳出のスリム化や経常的経費の削減に努め、これから10年間においてより健全な財政運営を目指します。

財政用語解説

**財政状況**・国家や地方公共団体が任務を遂行するための経済行動で、相対収入の取得のための権力作用と、取得した財・役務の管理・経営のための管理作用がある。

**経常収支比率**・地方公共団体の財政構造の弾力性を表しており、人件費、扶助費、公債費などの経常的な経費に、地方税、地方交付税、地方譲与税などの経常的な収入がどの程度充当されているか比率で示している。

**実質公債比率**・平成17年から導入された地方公共団体の一般財源、一部事務組合が負担する公債費に準ずる経費の比率のことです。

その他質問

- 1、学校図書館に書籍除菌機を
- 2、宿泊型産後ケアの負担軽減を
- 3、高齢者宅訪問時の駐車スペースの確保を
- 4、避難所のバリアフリー化を

**A 健康福祉部長** ●要介護認定者のうち、日常生活自立度のランクがⅡ以上の人数は1170人である。10年後は認知症の割合は4人に1人となり、2,700人を超える。

次に、本市の認知症施策について専門医療機関のときわ病院に、認知症初期集中支援チームを設置し、認知症高齢者やご家族に対し専門的な支援ができる体制を構築した。また、各地区の地域包括支援センターにおいて地域支援推進員を配置し、予防のための啓発を行った。

**Q 新しい認知症施策として個人賠償責任保険制度について導入を検討してはいかがか。**

**A 健康福祉部長** ●まずはS〇Sネットワークなどの見守り体制の充実による予防活動に取り組みたい。一方、損害賠償責任保険の加入については、介護するご家族にとって不安の軽減にもつながることから、まずはこのような保険制度の周知に努めたい。

Q 新しい認知症施策として個  
人賠償責任保険制度について  
導入を検討してはいかがか。

健康福祉部長 まずはS〇Sネットワークなどの見守  
り体制の充実による予防活動に取り  
組みたい。一方、損害賠償責任保険  
の加入については、介護するご家族  
にとつて不安の軽減にもつながること  
から、まずはこのような保険制度  
の周知に努めたい。

**A 健康福祉部長** ●要介護認定ランクがⅡ以上の人数は1170人である。10年後は認知症の割合は4人に1人となり、2,700人を超える。

次に、本市の認知症施策について専門医療機関のときわ病院に、認知症初期集中支援チームを設置し、認知症高齢者やご家族に対し専門的な支援ができる体制を構築した。また、各地区の地域包括支援センターにおいて地域支援推進員を配置し、予防のための啓発を行った。

一般質問を動画でご覧いただけます。  
※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。  
PC からは <https://youtu.be/PQNnS4gdhSY>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。

一般質問を動画でご覧いただけます。  
※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。  
PC からは <https://youtu.be/n76KRpDz0Nz>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。

## 議会組織変更のお知らせ

◆議会改革・活性化特別委員会		議長	中村 義彦
		副議長	北村 大助
◆議会選出監査委員会		委員長	西本 政之
		副委員長	梅野智恵子
◆総務産業常任委員会		委員長	馬場 弘勝
		副委員長	安原 透
◆議会運営委員会		委員長	馬場 早川 彰一
		副委員長	土田 友雄
◆総務産業常任委員会		委員長	馬場 弘勝
		副委員長	安原 透
◆総務産業常任委員会		委員長	馬場 早川 彰一
		副委員長	土田 友雄
◆体育施設等に関する調査特別委員会		委員長	馬場 早川 岩見 博
		副委員長	土田 友雄
◆教育福祉常任委員会		委員長	馬場 早川 和美
		副委員長	土田 友雄
◆予算決算常任委員会		委員長	馬場 早川 和美
		副委員長	土田 友雄
◆手取川水防事務組合議会議員		委員長	馬場 早川 和美
		副委員長	土田 友雄
◆白山野々市広域事務組合議会議員		委員長	馬場 早川 和美
		副委員長	土田 友雄
◆白山石川医療企業団議会議員		委員長	馬場 早川 和美
		副委員長	土田 友雄
◆石川県後期高齢者医療広域連合議会議員		委員長	馬場 早川 和美
		副委員長	土田 友雄
◆議員全員（議長を除く）		委員長	馬場 早川 和美
		副委員長	土田 友雄

## 6月定例会の予定

会期:6月7日(月)~24日(木) (18日間)



日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7 午前10時～ 本会議 開会	8	9	10	11	12
13	14	15 午前10時～ 本会議 一般質問	16 午前10時～ 本会議 一般質問	17 午前10時～ 予算決算常任委員会	18 午前10時～ 総務産業常任委員会 午後2時～ 教育福祉常任委員会	19
20	21	22 午前10時～ 体育施設等に関する 調査特別委員会 午後2時～ 議会改革・活性化特 別委員会	23 午前10時～ 予算決算常任委員会	24 午後2時～ 本会議 閉会	25	26
27	28	29	30			